

■ コンセプト

- 新・群馬県総合計画「ビジョン」
「始動人」

➤ 他人が目指さない領域で
動き出す人

変化の激しい時代の中、
学力だけではなく、
別の可能性・潜在力を
どう評価し、伸ばしていくか

- OECDの教育政策

「ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030」

➤ 「社会情動的スキル」
（＝非認知的能力、EQ）

予測不可能な今日の世界では
認知的能力と
社会情動的スキルを
併せ持つことが必要



社会情動的スキルに関する調査 (Survey on Social and Emotional Skills)

- 児童生徒の社会情動的スキルの形成及び発達を促進または妨げる要因を評価する国際的調査。今回が2回目の実施、15か国・都市が参加。**日本では本県が初めて参加。**
- 調査の回答者は、自身の考えや志向、普段の行動、態度などに関する質問文に、自分がどの程度当てはまるか、または当てはまらないかを、オンライン上の回答フォームから回答する。(調査時間：生徒60分、校長30分、教員30分)
- 回答はOECDに直接送信される。**個人や学校が特定されることはない。**
- 回答は個別に扱われることはなく、参加国・都市単位で分析・比較される。回答と**生徒の学業成績**の関係についても分析が行われる。



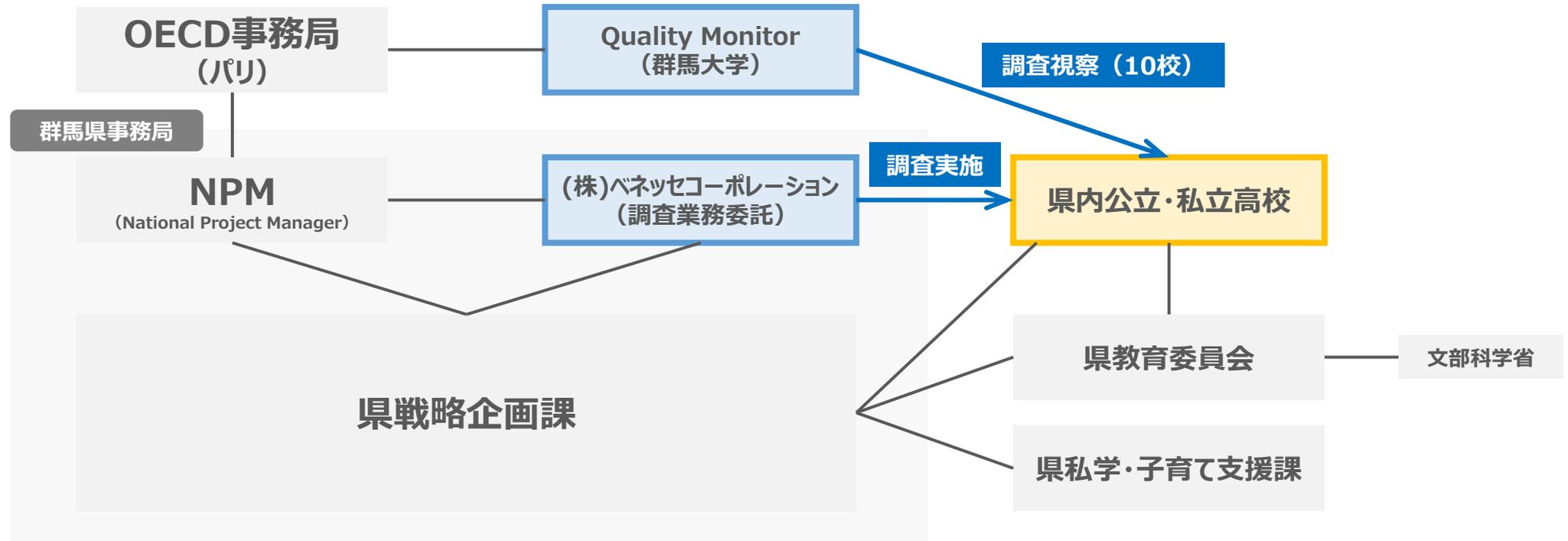
調査対象者

生徒：**2007年4月2日～2008年3月15日生まれ**の1学年の生徒の中から、**各校50人をOECDが選出**
(1学年の人数が50人に満たない高校は、誕生日要件を満たす全員が対象)

教員：**1学年を担当する教員** (担任、副担任、教科担任等) の中から、**各校8人をOECDが選出**

校長：全員受検

調査実施体制



Quality Monitor (QM) の派遣について

- 学校における調査手順が、OECDの定める調査手順に従っているかを記録し、調査の信頼性を担保するもの。
- 本県がOECDに推薦し決定した2名（群馬大学）のうち1名が、**OECDが選定する10校を訪問し、調査状況の評価や各校担当者（スクールコーディネーター）との面談**を行う。